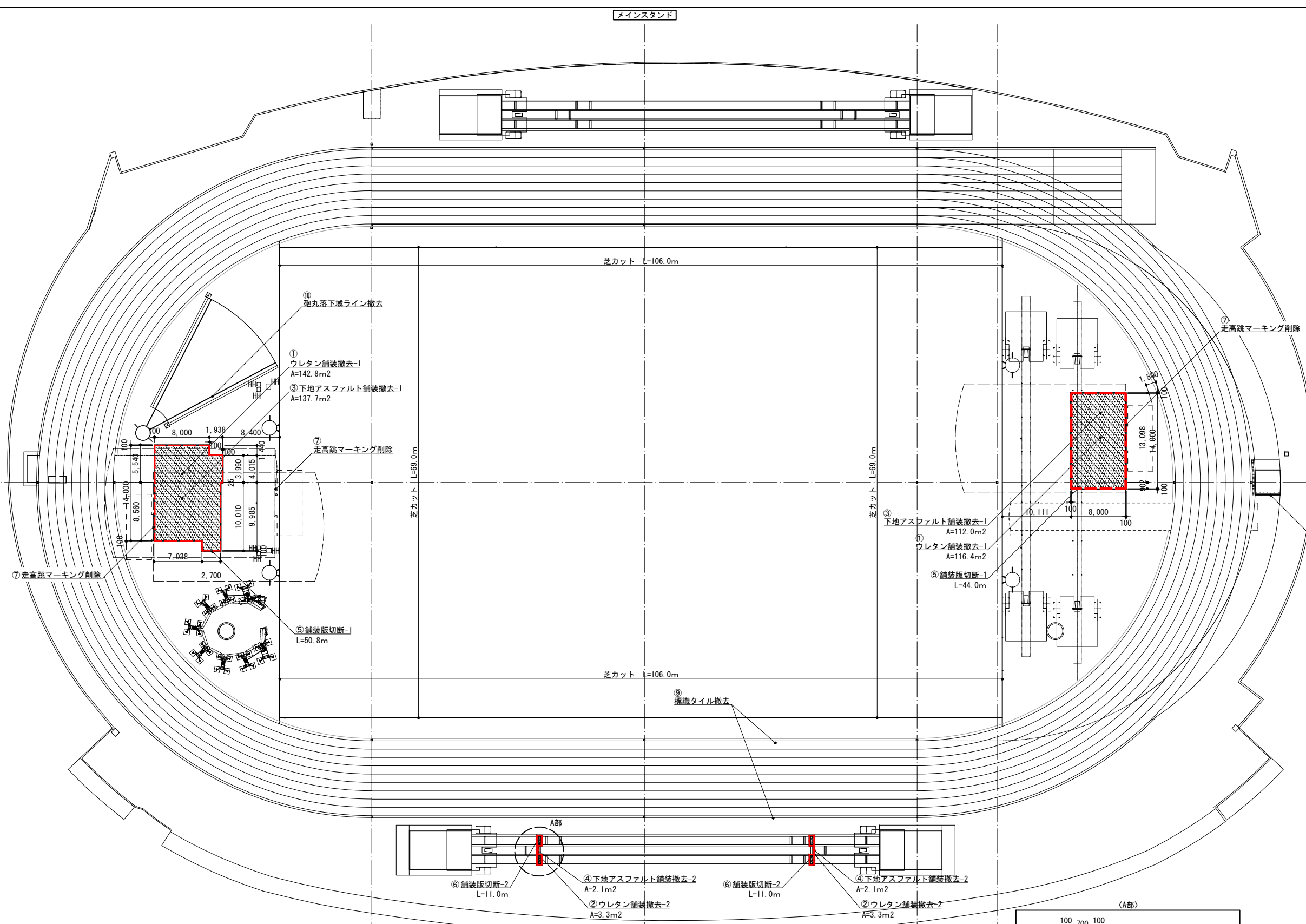


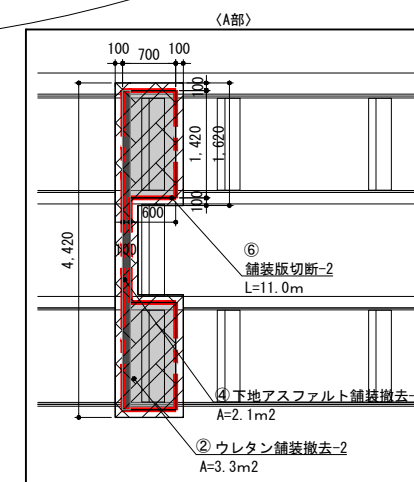
現況平面図 S=1:300

施工年度	令和 7 年度
工 事 名	笠松運動公園陸上競技場公認更新工事
路 線 名	笠松運動公園陸上競技場
工事箇所	那珂市向山1282-1
図面種別	現況平面図
縮 尺	
図面番号	全 13 葉 の 内 3 号 (   /   )
内容表示	



### 数量表

番 号	記 号	名 称	寸法・規格	数 量	単位	備 考
①		ウレタン舗装撤去-1	t=15mm撤去	259.2	m <sup>2</sup>	Aゾーン、Bゾーン
②		ウレタン舗装撤去-2	t=18mm撤去	6.6	m <sup>2</sup>	バック側助走路
③		下地アスファルト舗装撤去-1	下地アスファルト t=75mm撤去	249.7	m <sup>2</sup>	Aゾーン、Bゾーン
④		下地アスファルト舗装撤去-2	下地アスファルト t=70mm撤去	4.2	m <sup>2</sup>	バック側助走路
⑤		舗装版切断-1	t=75mm撤去	94.8	m	Aゾーン、Bゾーン
⑥		舗装版切断-2	t=70mm撤去	22.0	m	バック側助走路
⑦		走高跳マーキング削除		3	箇所	
⑧		水濺バー撤去		1	箇所	
⑨		標識タイル撤去	SUS製	11	枚	
⑩		砲丸落下域ライン撤去		36.0	m	
		内圍縁石撤去	1,990m	43	本	
		芝カット		350	m	



施工年度	令和 7 年度
工 事 名	笠松運動公園陸上競技場公認更新工事
路 線 名	笠松運動公園陸上競技場
工事箇所	那珂市向山1282-1
図面種別	撤去平面図
縮 尺	
図面番号	全 13 葉 の内 4 号( / )
内容表示	



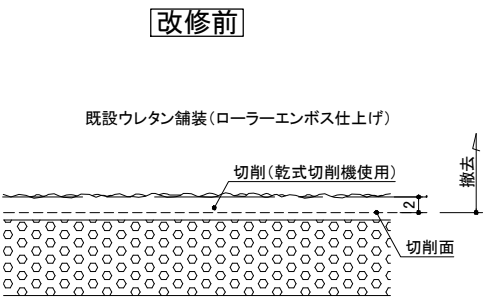
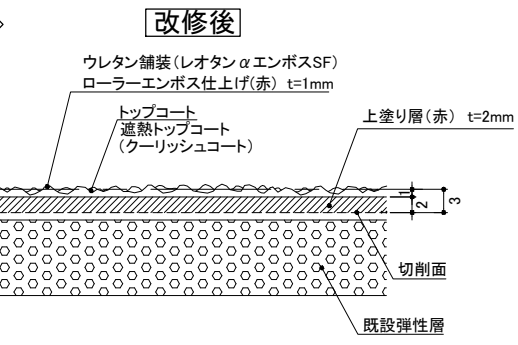
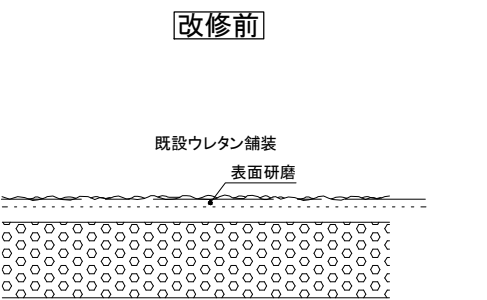
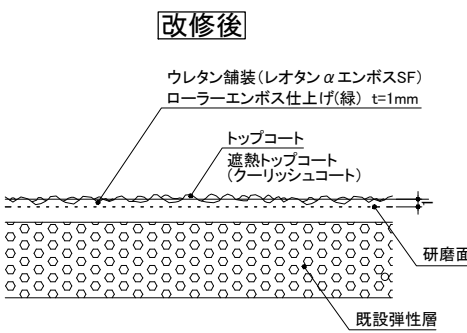
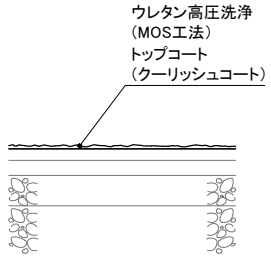
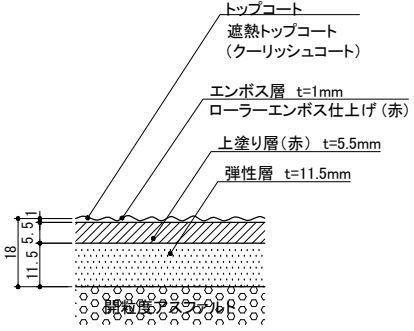
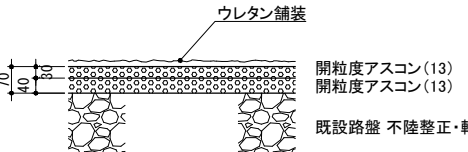
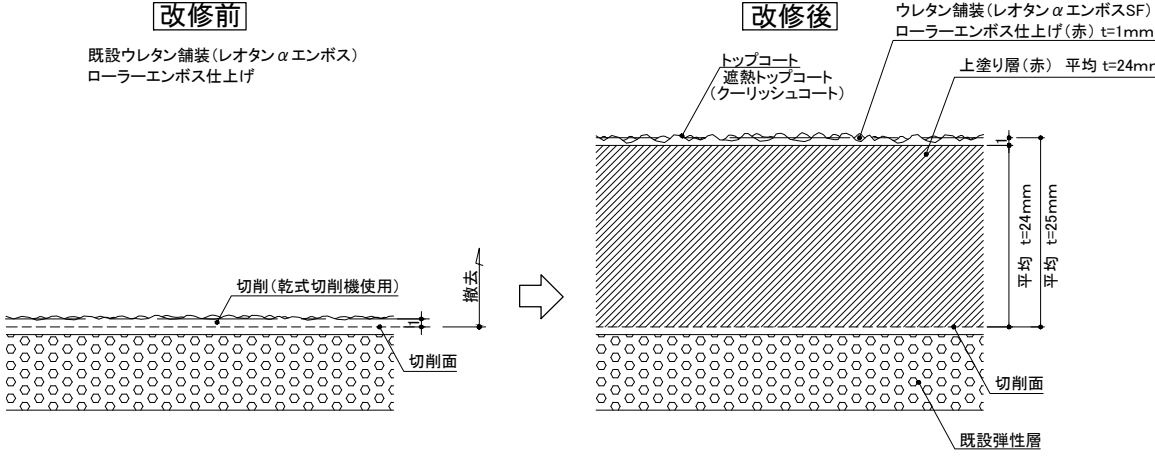
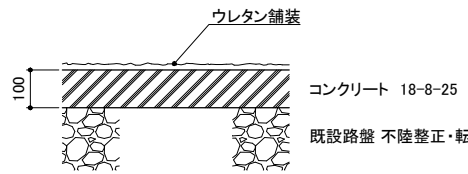


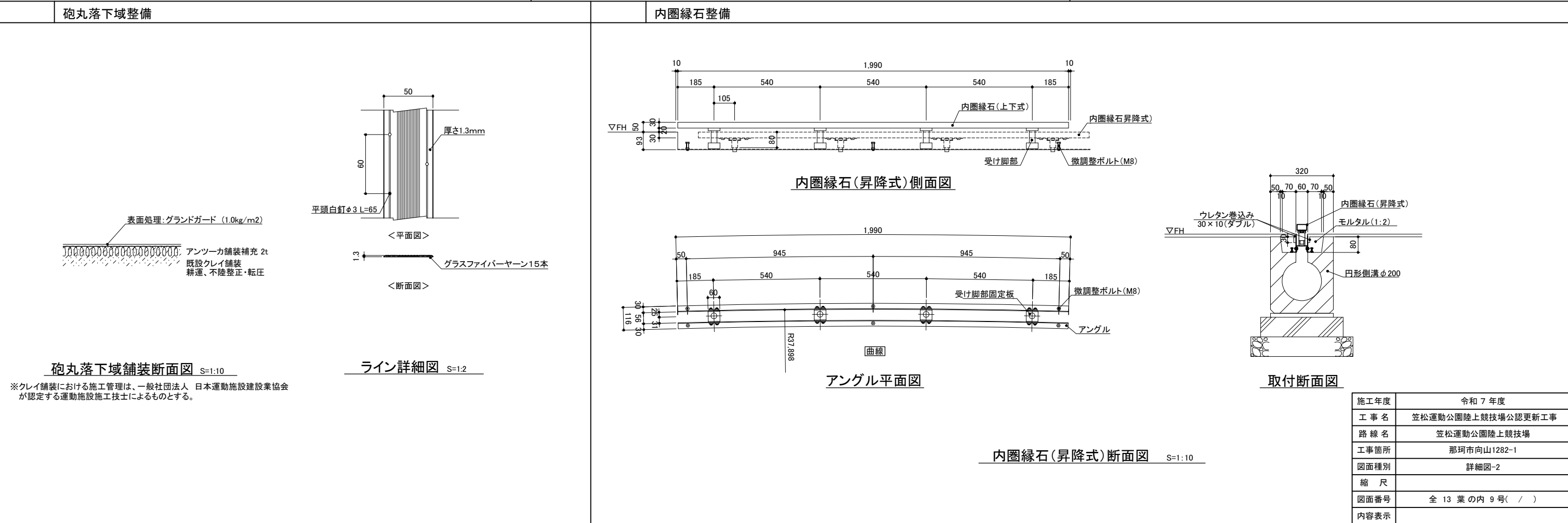
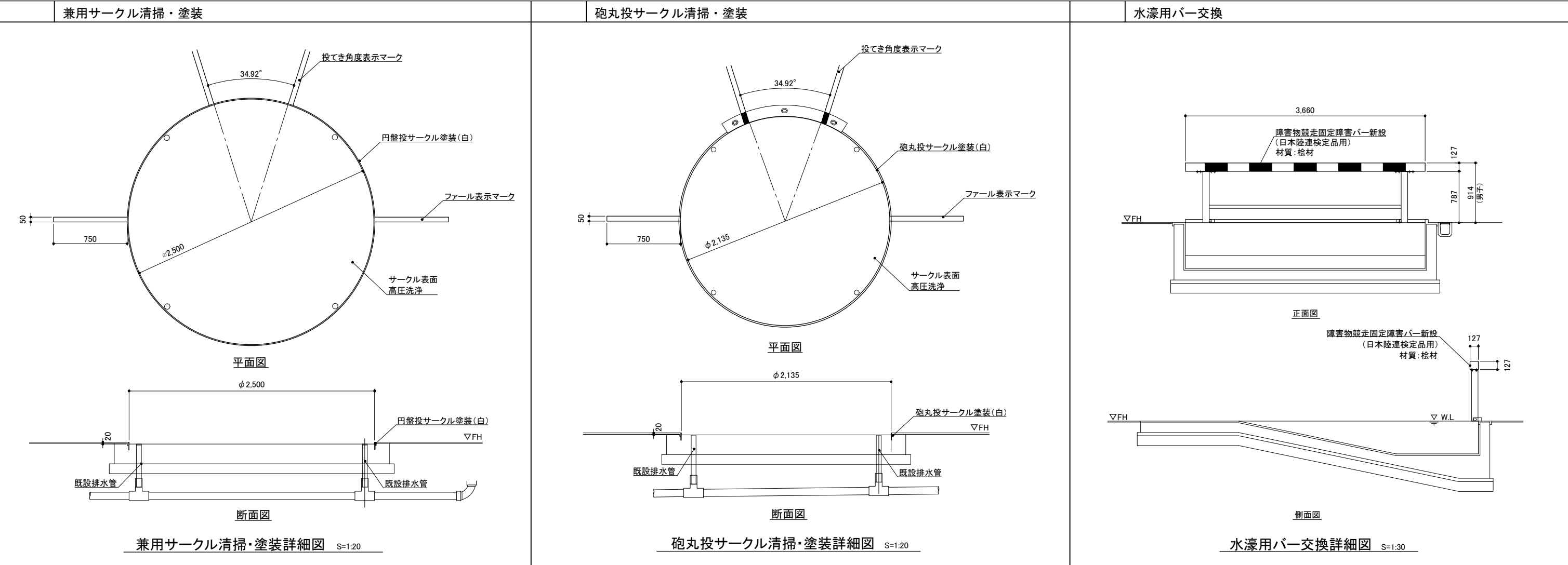
番 号	記 号	名 称	寸法・規格	数 量	単 位	備 考
①	■	内圍縁石整備	昇降式 清掃・調整・塗装 新設 1,990m×43本、昇降金具交換 17箇所	398.0	m	
②	■	内圍縁石清掃・調整	脱着式	27.8	m	
③		標識タイル	SUS製 1マイル、2マイル、欠損箇所	16.0	枚	
④		300mH標識・マーキング	皿ビス欠損部設置(SUS製ビス) マーキングは全箇所とする	1.0	式	やり投げ助走路部 3枚 800R 8枚、欠損箇所 800m 5-S
⑤		レーンライン	アクリルウレタン系樹脂塗料	1.0	式	
⑥		マーキング	アクリルウレタン系樹脂塗料 施工時の最新ルールに依る	1.0	式	フィニッシュラインは研磨して、 エンボス仕上げとする。
⑦		水濺バー取替	日本陸上競技連盟検定品	1.0	箇所	
⑧		走高跳マーキング	トップコート塗布 アクリルウレタン系樹脂塗料	3.0	箇所	
⑨		踏切板	日本陸上競技連盟検定品	4.0	箇所	バック側助走路
⑩		砂場砂補充	洗砂(細目)	4.0	箇所	9.0m×5.55m：4箇所

[illegible]

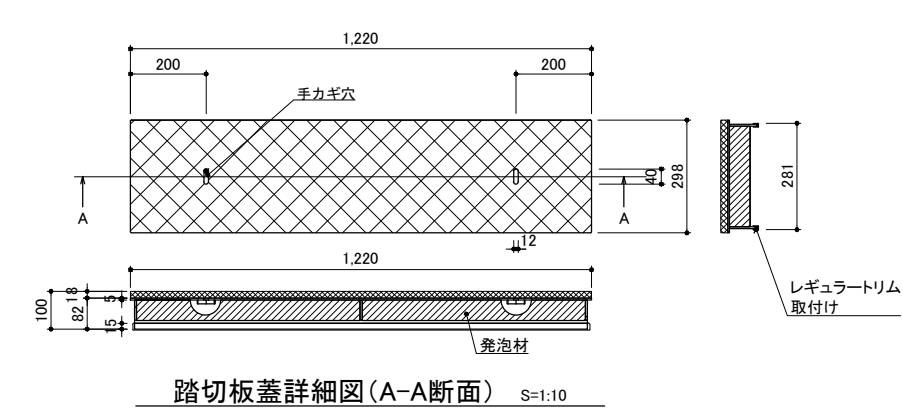
施工年度	令和 7 年度
工 事 名	笠松運動公園陸上競技場公認更新工事
路 線 名	笠松運動公園陸上競技場
工事箇所	那珂市向山1282-1
図面種別	施設平面図
縮 尺	
図面番号	全 13 葉 の 内 6 号 (     /     )
内容表示	



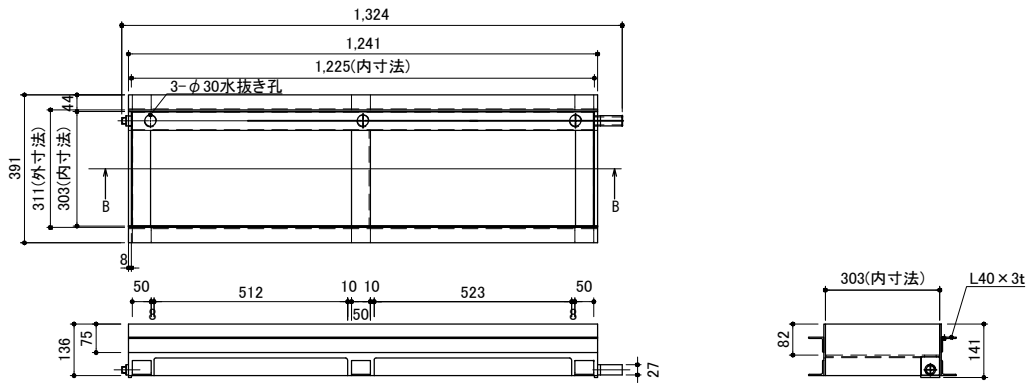
ウレタン切削・オーバーレイ		ウレタン研磨・オーバーレイ（アウトフィールド）		ウレタン洗浄・トップコート	
<div><div><div>改修前</div><div></div></div><div><div>改修後</div><div></div></div><div><div>ウレタン切削・オーバーレイエ 断面図</div><div>S=2:1</div><div>※ウレタン舗装における施工管理は、一般社団法人 日本運動施設建設業協会が認定する運動施設施工技士によるものとする。 ※使用するウレタン舗装材は、既設ウレタン舗装と同等の2液性ウレタン材とする。 ※陸上競技場公認に関する細則第8条第2項（6）に基づくとともに、走行感の均一性と利用者の安全性を確保するため、舗装材は既設と同等とし、表面仕上げおよび硬度は既存の舗装材と同一とする。 舗装材：レオタンαエンボスSF トップコート：遮熱トップコート（クーリッシュコート） エンボス層：主剤TF-510・硬化剤NM-50ER 上塗り層：主剤TF-614・硬化剤NM-50UR（赤） 表面仕上げ：ローラーエンボス仕上げ</div></div></div>		<div><div><div>改修前</div><div></div></div><div><div>改修後</div><div></div></div><div><div>ウレタン研磨・オーバーレイ断面図</div><div>S=2:1</div><div>※ウレタン舗装における施工管理は、一般社団法人 日本運動施設建設業協会が認定する運動施設施工技士によるものとする。 ※使用するウレタン舗装材は、既設ウレタン舗装と同等の2液性ウレタン材とする。 ※陸上競技場公認に関する細則第8条第2項（6）に基づくとともに、走行感の均一性と利用者の安全性を確保するため、舗装材は既設と同等とし、表面仕上げおよび硬度は既存の舗装材と同一とする。 舗装材：レオタンαエンボスSF トップコート：遮熱トップコート（クーリッシュコート） エンボス層：主剤TF-510・硬化剤NM-50EG 表面仕上げ：ローラーエンボス仕上げ</div></div></div>		<div><div><div>改修後</div><div></div></div><div><div>ウレタン洗浄・トップコート断面図</div><div>S=1:10</div></div></div>	
ウレタン舗装（A・Bゾーン、助走路）		下地アスファルト舗装（A・Bゾーン）		やり投げ改修	
<div><div><div>ウレタン舗装断面図</div><div>S=1:10</div><div>※ウレタン舗装における施工管理は、一般社団法人 日本運動施設建設業協会が認定する運動施設施工技士によるものとする。 ※使用するウレタン舗装材は、既設ウレタン舗装と同等の2液性ウレタン材とする。 ※陸上競技場公認に関する細則第8条第2項（6）に基づくとともに、走行感の均一性と利用者の安全性を確保するため、舗装材は既設と同等とし、表面仕上げおよび硬度は既存の舗装材と同一とする。 舗装材：レオタンαエンボスSF トップコート：遮熱トップコート（クーリッシュコート） エンボス層：主剤TF-510・硬化剤NM-50ER 上塗り層：主剤TF-614・硬化剤NM-50UR（赤） 弾性層：主剤TF-614・硬化剤NM-50DR 表面仕上げ：ローラーエンボス仕上げ</div></div><div><div>詳細図</div><div>S=1:1</div><div></div></div></div>		<div><div><div>下地アスファルト舗装断面図</div><div>S=1:10</div><div></div></div></div>		<div><div><div>やり投げ改修断面図</div><div>S=2:1</div><div>やり投げ改修断面図 〈やり投げ助走路〉</div><div></div></div></div>	
コンクリート（助走路）		コンクリート（助走路）		令和7年度 笠松運動公園陸上競技場公認更新工事 笠松運動公園陸上競技場 那珂市向山1282-1 詳細図-1 縮尺 図面番号 全 13 葉 の 内 8 号( / ) 内容表示	
<div><div><div>コンクリート断面図</div><div>S=1:10</div><div></div></div></div>					



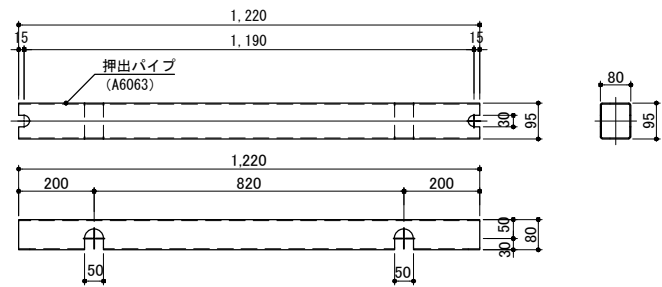




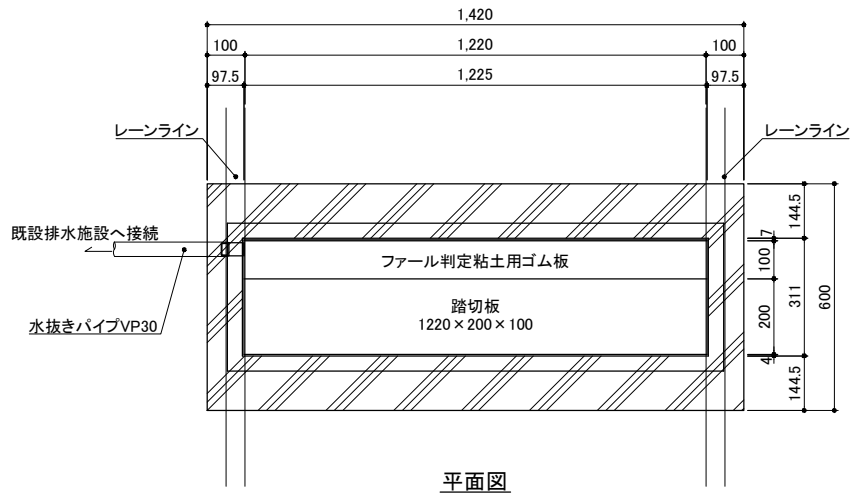
踏切板蓋詳細図(A-A断面) S=1:10



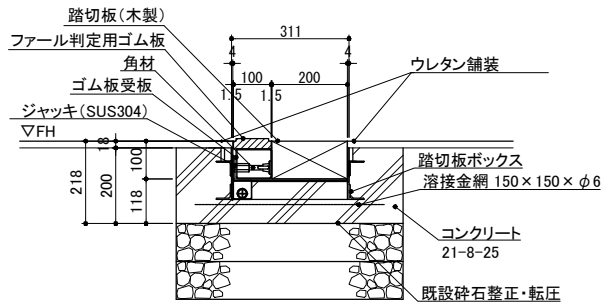
踏切板BOX詳細図(B-B断面) S=1:10



踏切板角材詳細図 S=1:10



平面図



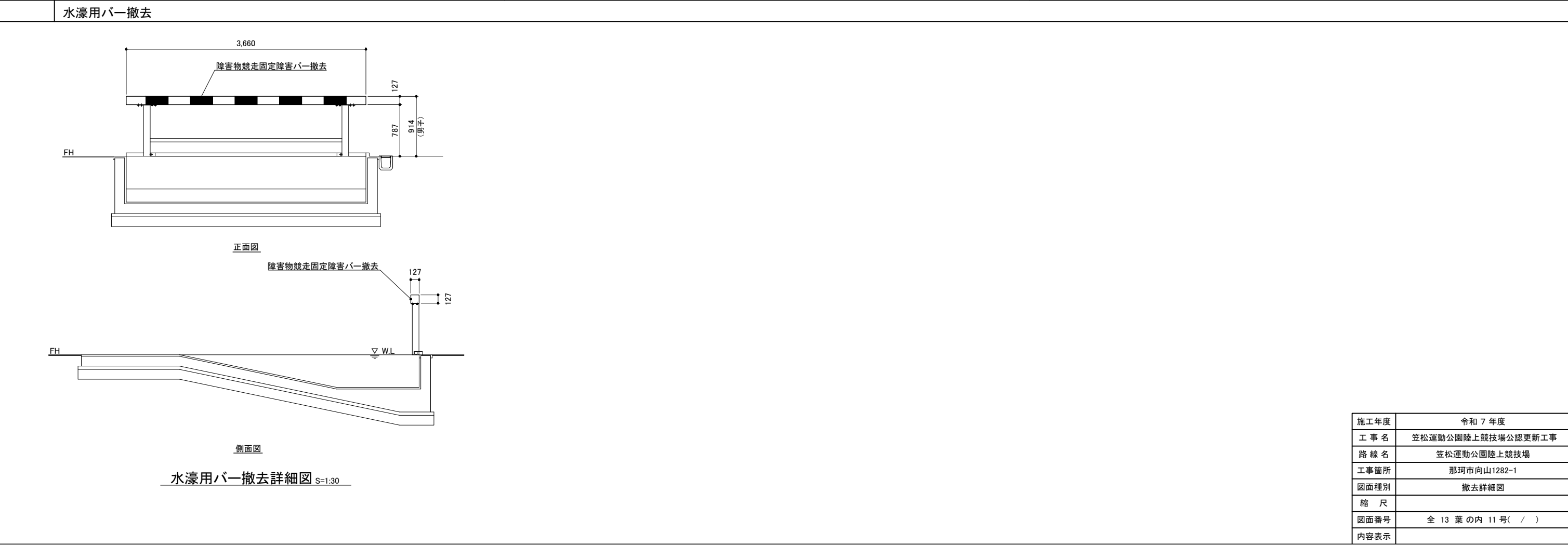
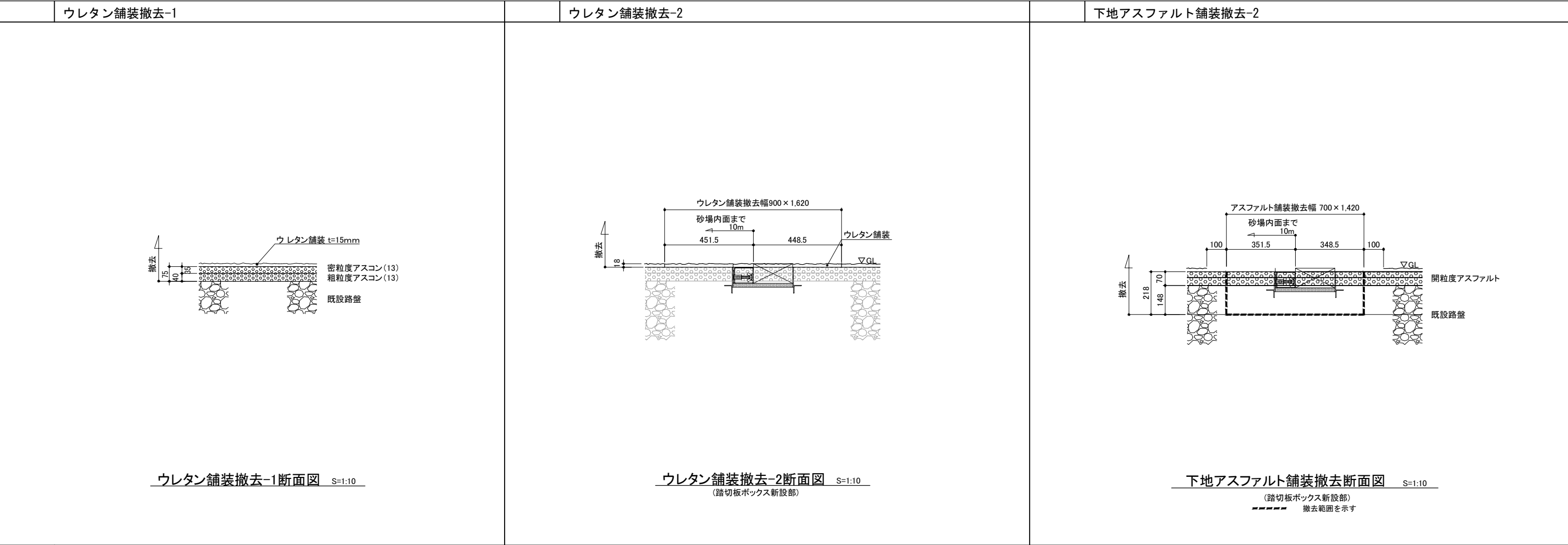
競技時施工参考図 S=1:10

踏切板詳細図 S=1:10

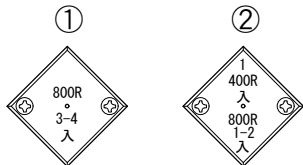
仕様  
重量 約63kg  
材質 ステンレス  
備考 排水パイプ左右交換可能  
ジャッキ付き 角材付き 手カギ付き 全天候用  
蓋内部発泡材入り 緑レギュラートリム付き 施工補助板付き

施工年度	令和 7 年度
工 事 名	笠松運動公園陸上競技場公認更新工事
路 線 名	笠松運動公園陸上競技場
工事箇所	那珂市向山1282-1
図面種別	詳細図-3
縮 尺	
図面番号	全 13 葉 の 内 10 号( / )
内容表示	





①及び②のタイルは下図の表示とする。

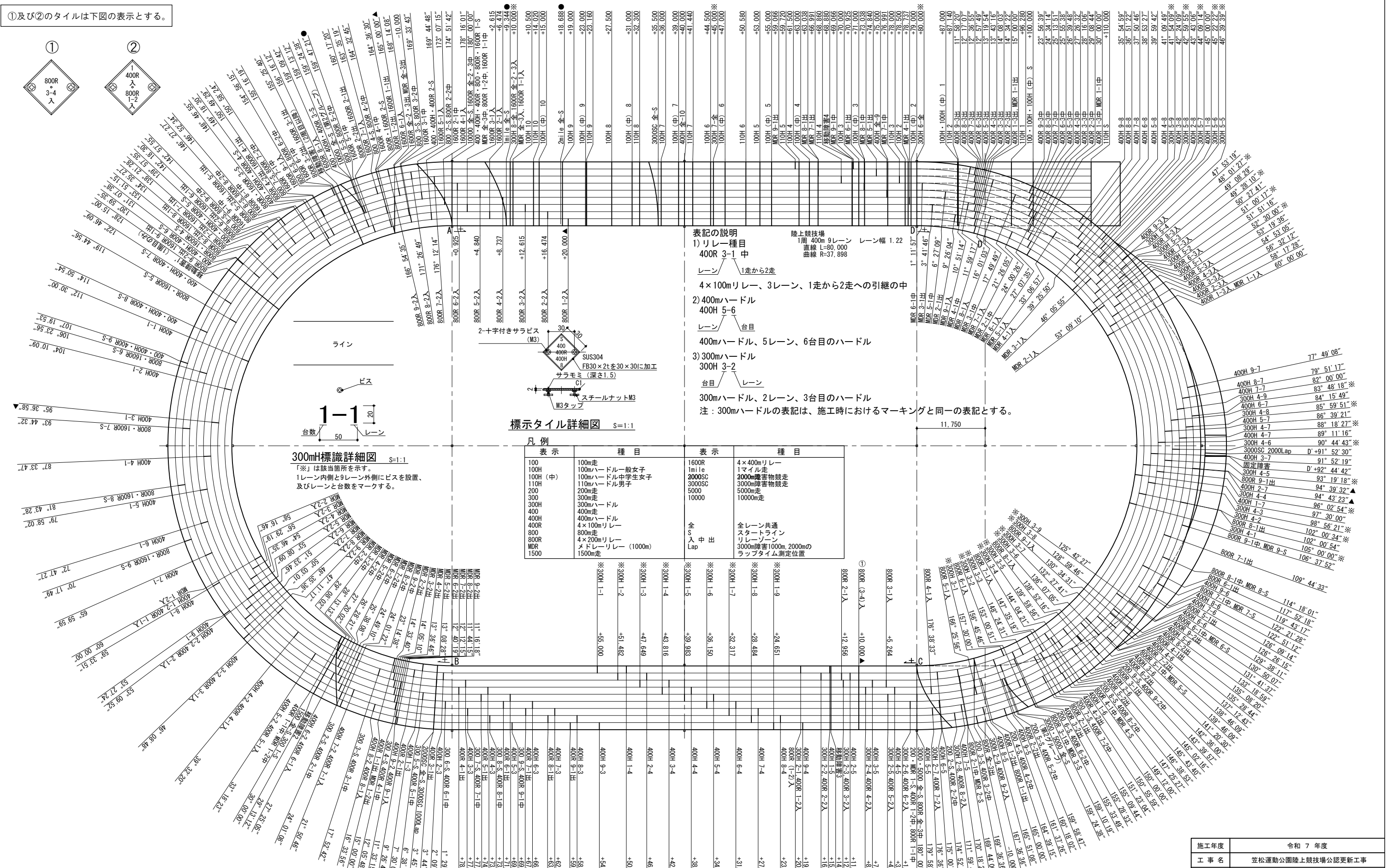


## 数量表

記 号	名 称	寸法・規格	数 量	単位	備 考
▲	標識タイル撤去・新設	SUS製	11.0	枚	やり投げ助走路部 3枚 800R 8枚
●	標識タイル新設	SUS製 1マイル、2マイル、欠損箇所	5.0	枚	
	300mH標識・マーキング	血ビス欠損部設置(SUS製ビス) マーキングは全箇所とする	1.0	式	ビス欠損 5箇所

## 標識タイル位置図 S=1:300

施工年度	令和 7 年度
工 事 名	笠松運動公園陸上競技場公認更新工事
路 線 名	笠松運動公園陸上競技場
工事箇所	那珂市向山1282-1
図面種別	標識タイル位置図
縮 尺	
図面番号	全 13 葉 の 内 12 号 ( / )
内容表示	



## レーンライン・マーキング色分け標準表

項 目	色分
<p>1.トラック各レーン 100m、110mHスタート付近の破線</p>	白
2. 100m、200m、300m、400m、1,500m、110mHの各スタートラインとフィニッシュライン	白
3. 3,000mSCのスタートライン	白
4. 5,000m、10,000mのスタートライン 並びにグループスタートライン	白
5. 4×100mリレーの(1-2)中、(2-3)中 (※200m、300mスタートラインと同じ)	白
<p>6. 800mのスタートライン、4×400m(1-2)中</p>	白 緑
7. ブレイクライン(B点) 2レーンから9レーン外側まで引く	緑
<p>8. 3000m、5000mのグループスタートの末端 (合流点になる所)</p>	緑

項 目	色 分
<p>9. フィニッシュライン            フィニッシュライン手前のナンバーを塗布する            写真判定装置の使用のためにフィニッシュラインと            レーンが交差する部分のスタートラインに近い方の            端をそれぞれ黒で塗る</p>	<p>黒</p> <p>白</p>
<p>10. ハードルの位置            100mH(女子)、110mH、400mH</p> <p>100mH1 台目、110mH2 台目</p> <p>100mH(中学女子)</p>	<p>ハードル</p> <p>100mH (中学 女子) 黒</p> <p>100mH (女子) 黄</p> <p>110mH 青</p> <p>400mH 緑</p> <p>ナンバ ー</p> <p>100mH (女子) 黄</p> <p>110mH 青</p> <p>400mH 緑</p>
<p>11. 障害物競走の移動障害物位置</p> <p>外側の水濠で最初の1周の第1障害物を移動するときの位置</p> <p>障害物競走路の直走路と曲走路の境界</p>	<p>青</p> <p>緑</p>
<p>12. 2000SC、3000SCのラップタイム用の位置            正三角形マーク(一辺の長さ100mm)とする</p>	<p>白</p>

項 目		色分
13. 4×100mリレー(3-4)中		白
14. 4×100mリレーのテーク・オーバー・ゾーン		黄
15. 4×400mリレーのスタート		白 青
16. 4×400mリレーのテーク・オーバー・ゾーン(1-2)入・出		青
17. 4×400mリレーのテーク・オーバー・ゾーン(2-3)・(3-4)入		青
18. 4×400mリレーのテーク・オーバー・ゾーン(2-3)・(3-4) 出ラインはフィニッシュラインと平行とする		青

項 目		色分
19. 走高跳の支柱台		白
20. 棒高跳の助走路、支柱台		白
21. 走幅跳、三段跳の助走路		白 黒 黄
22. やり投の助走路、円弧		白

施工年度	令和 7 年度
工 事 名	笠松運動公園陸上競技場公認更新工事
路 線 名	笠松運動公園陸上競技場
工事箇所	那珂市向山1282-1
図面種別	レーンライン・マーキング色分け標準図
縮 尺	
図面番号	全 13 葉 の 内 13 号 ( / )
内容表示	